



マイクロン、 ゲームと AI 向けの次世代グラフィックスメモリのサンプル提供開始

1.5TB/s を超えるシステム帯域幅で、比類のないグラフィックス体験を提供

2024 年 6 月 5 日 - 台湾台北市 — COMPUTEX — Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU) は、本日、業界最高のビット密度*¹を誇る[次世代グラフィックスメモリ、GDDR7](#)のサンプル提供開始を発表しました。マイクロンの 1β(1 ベータ)DRAM 技術と革新的なアーキテクチャを活用した Micron GDDR7 は、32 Gb/s の高性能メモリを省電力設計で提供します。1.5 TB/s を超えるシステム帯域幅*²により、GDDR6 と比較して最大 60%の帯域幅向上*³を実現し、4 つの独立したチャネルでワークロードを最適化します。これにより、Micron GDDR7 メモリはより迅速な応答時間、スムーズなゲームプレイ、そして処理時間の短縮を可能にします。さらに、GDDR6 と比較して電力効率を 50%以上改善*⁴し、発熱を抑え、バッテリーの持続性を高めます。新しく追加されたスリープモードでは、待機電力を最大で 70%削減*⁵します。Micron GDDR7 はパフォーマンスを損なうことなく、高度な信頼性、障害及び保守に対する(RAS)機能を提供することで、デバイスの信頼性とデータの整合性を向上させ、AI、ゲーム、高性能コンピューティングワークロードなどの幅広いアプリケーションに対応します。

Micron GDDR7 メモリは、テキストや画像生成などの生成 AI ワークロード*⁶に対して、スループットを最大 33%向上して、応答時間を最大 20%短縮する高いパフォーマンスを提供します。さらに、マイクロンは、GDDR7 を搭載したグラフィックスカードが現在の GDDR6 および GDDR6Xトレンドと比較して、1080p、1440p、および 4K 解像度⁷でレイトレーシングとラスターライズのフレームレート(FPS)を 30%以上向上させると予想しています。GDDR7 の提供により、マイクロンの業界をリードするエッジ AI 推論アプリケーション向けの製品ポートフォリオが完成し、CPU、NPU、および GPU コンポーネントに対して DDR、LPDDR、GDDR メモリオプションを提供可能になります。ゲームアプリケーションではパフォーマンスとフレームバッファのスケールリングを通じて、AI により強化されたゲームプレイを実現し、様々なランドスケープ、プレイヤー、およびストーリーラインを提供します。

マイクロン コンピューティング製品グループ バイスプレジデント 兼 ゼネラルマネージャーを務めるプラヴィーン・バイディアナサンは「マイクロンは再びメモリ革新の最前線に立ち、グラフィックス性能のリーダーシップを継続するために、最先端のプロセスとインターフェース技術で構築された最高帯域幅のソリューションを開発しています。Micron GDDR7 メモリの最高水準の機能は、最も要求の厳しいアプリケーションに新しい次元のリアリズムとパフォーマンスをもたらします」と述べています。

マイクロンは、GDDR6X の量産に成功してから 5 年以上にわたり、世界トップクラスの性能と品質の提供を続けてきました。成熟した技術、設計、テスト経験により、GDDR7 の普及を加速させ、製造拡大



を全面的にサポートします。マイクロンは GDDR6X で PAM4 信号技術を導入し、GDDR6 と比較して 20%以上の性能向上^{*8}を達成しました。PAM4 の成功は、マイクロンの PAM3 を採用した GDDR7 ポートフォリオリーダーシップの基盤を形成しています。マイクロンは、業界初の 40 Gb/s PAM3 性能を測定に成功、この進んだ技術により、将来の GDDR7 製品の高性能化への道を開いていきます。

業界関係者のコメント

「AMD は、没入感のあるゲーム体験を創り出すことに全力を注いでいます。GDDR7 に関するマイクロンとの取り組みは、私たちの共通の目標を前進させるものです。マイクロンの GDDR7 の発売に大きな期待を寄せ、この技術を活用してゲーム体験をさらにリアルにすることを楽しみにしています」

- AMD シニアバイスプレジデント兼コーポレートフェローの ジョー・マクリ (Joe Macri) 氏

「Cadence は、GDDR、HBM、DDR、LPDDR 向けの業界をリードするメモリ IP サブシステムソリューションを開発するために、マイクロンと強い協力関係を築いてきました。私たちは、マイクロンの最先端 1β DRAM 技術をベースにした GDDR7 のサンプルを使用し、最大 36 Gb/s で動作する GDDR7 PHY IP のテストと検証を行っています」

- Cadence シリコンソリューショングループ シニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーのボイド・フェルプス (Boyd Phelps) 氏

Micron GDDR7 メモリは、2024 年後半にマイクロン、または一部のグローバルチャネルのディストリビューターと販売代理店を通じて提供される予定です。詳細については、[Micron GDDR7 ウェブページ](#)をご覧ください。

参考資料:

- [Micron GDDR7 ウェブページ](#)
- [ブログポスト](#)
- [画像ギャラリー](#)
- [製品概要](#)



- *1: GDDR7ベンダー間の1ウエハあたりのGbに基づくビット密度の推定値
- *2: 1.5 TB/sの帯域幅は、384ビットのメモリバス幅に基づく
- *3: GDDR7とGDDR6の仕様間のコンポーネントピン速度
- *4: GDDR7とGDDR6のバースト読み取りの電力効率の比較
- *5: GDDR7とGDDR6の待機電力の比較
- *6: より高い帯域幅によるGDDR7推論ワークロードの改善期待値
- *7: ラスタライゼーションとレイトレーシングのベンチマークに対して予想されるGDDR7のFPS
- *8: GDDR6およびGDDR6Xのコンポーネント仕様にに基づく性能

Micron Technology, Inc.について

マイクロンは、情報活用のあり方を変革し、すべての人々の生活を豊かにするために、革新的なメモリおよびストレージソリューションを提供するリーディングカンパニーです。顧客第一主義を貫き、テクノロジーの最前線でリーダーシップを発揮し続け、洗練された製造技術と事業運営を妥協なく追求するマイクロンの製品ポートフォリオは、DRAM、NAND、NORの各種メモリからストレージ製品まで多岐にわたり、Micron®またはCrucial®のブランドを冠した高性能な製品を多数展開しています。マイクロンで生まれた数々のイノベーションは、データの活用を加速すると同時に、人工知能や5Gといった最先端分野の進歩の基盤として、データセンターからインテリジェントエッジ、さらにはクライアントコンピューターとモバイルをまたいだユーザーエクスペリエンスまで、さまざまな事業機会を新たに生み出し続けています。Micron Technology, Inc. (Nasdaq: MU)に関する詳細は、micron.comをご覧ください。

© 2024 Micron Technology, Inc. All rights reserved. 情報、製品、仕様は予告なく変更される場合があります。マイクロン、マイクロンのロゴ、およびその他すべてのマイクロン商標はMicron Technology, Inc.に帰属します。ASUSはASUSTeK Computer Inc.の商標です。AMDとRyzenはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。Pure StorageはPure Storage, Inc.の商標です。その他すべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。第三者の商標の使用は、これら商標の所有者による承認やスポンサー、またはその所有者との提携を意味するものではありません。